作成日2022/09/28
最新改定日 2024/11/25

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
　製品名称 : ビードリークシーラーEU
　製品番号 :999-07722-Y9-007
推奨用途及び使用上の制限
　推奨用途 : チューブレスタイヤとホイール部分の気密性補修剤
　使用上の制限 : 推奨用途以外に使用しないこと
供給者の会社名称、住所及び電話番号
　供給者の会社名称 : 株式会社プリーマタイヤサプライズ
　住所 : 東京都新宿区新宿1－25－14第2関根ビル2F
　電話番号 :03-3358-6908
　FAX　　:03-3358-6954

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
GHS分類
　物理化学的危険性
　　引火性液体:区分 2
　健康に対する有害性
　　皮膚腐食性/刺激性:区分 2
　　眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2
　　発がん性:区分 2
　　特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)
　　特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)
　　特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(神経系)
　　特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(呼吸器)
　　誤えん有害性:区分 1
　環境有害性
　　水生環境有害性 短期(急性):区分 1
　　水生環境有害性 長期(慢性):区分 1
　(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素

　注意喚起語:危険
　危険有害性情報
　　引火性の高い液体及び蒸気
　　皮膚刺激
　　強い眼刺激
　　発がんのおそれの疑い
　　呼吸器への刺激のおそれ
　　眠気又はめまいのおそれ
　　長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(神経系)
　　長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器)
　　飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
環境への放出を避けること。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。
漏出物を回収すること。
特別な処置が必要である。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
無理に吐かせないこと。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
n-ヘプタン	142-82-5	80 - 90	2-7
カーボンブラック	1333-86-4	1 - 10	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。
重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にしています。

危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
n-ヘプタン , カーボンブラック
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
n-ヘプタン , カーボンブラック
化管法「第1種指定化学物質」該当成分
n-ヘプタン

4. 応急措置

応急措置の記述
一般的な措置
医学的な助言が必要なときには、このSDS、製品容器やラベルを持っていくこと。
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
溶剤、シンナーを使用してはならない。
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)
食欲不振、頭痛、めまい、耳鳴り、皮膚の違和感、寒気、けいれん、集中力の低下、疲労感等
(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)
継続的に接触した場合、皮膚が乾燥しひび割れが生じるおそれ。
医師に対する特別な注意事項
中毒症状は数時間後に現れることがあるので、少なくとも事故の後48時間は医療的観察下におくこと。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
火災の場合は霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
使ってはならない消火剤
噴流水を消火に用いてはならない。
特有の危険有害性
燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
蒸気は空気と爆発性の混合物を形成するおそれがある。
蒸気は空気よりも重い。地面に沿って広がり、着火源に達するとフラッシュバックするおそれがある。

消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。
消火水の下水への流入を防ぐ。
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
防火服又は防炎服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
着火源を取除くとともに換気を行う。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。
環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。
河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。
二次災害の防止策
漏出物を回収すること。
汚染個所を洗剤で洗い流す。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
(火災・爆発の防止)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
(局所排気、全体換気)
排気/換気設備を設ける。

（注意事項）
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
飲み込まないようにする。
安全取扱注意事項
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避
強酸、塩基、強酸化性物質、アミンとの接触を避けること。
衛生対策
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。
保管
安全な保管条件
換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。
乾燥した場所に保管すること。
（避けるべき保管条件）
直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置
管理指標
管理濃度、濃度基準値データなし
許容濃度
(n-ヘプタン)
日本産衛学会(1988) 200ppm; 820mg/m3
(カーボンブラック)
日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵) 1mg/m3; (総粉塵) 4mg/m3
(n-ヘプタン)
ACGIH(1979) TWA: 400ppm;
STEL: 500ppm (中枢神経系障害; 上気道刺激)
(カーボンブラック)
ACGIH(2011) TWA: 3mg/m3(I) (気管支炎)
ばく露防止
設備対策
排気/換気設備を設ける。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。推奨材質:ニトリル

眼の保護具
　側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
　帯電防止保護衣、静電靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 黒色
臭い : 溶剤臭
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点 : 94℃
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体): 引火性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 :
　爆発下限 : (n-ヘプタン)0.8 vol %
　爆発上限 : (n-ヘプタン)6.7 vol %
引火点 : -4℃
自然発火点データなし
分解温度データなし
pHデータなし
動粘性率データなし
溶解度:
　水に対する溶解度データなし
　溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度 : 0.7 - 0.8g/cm3
相対ガス密度(空気=1) : > 1
粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性
反応性
　反応性データなし
化学的安定性
　通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
　蒸気は引火して爆発するおそれがある。
避けるべき条件
　直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
混触危険物質
　強酸、塩基、強酸化性物質、アミン
危険有害な分解生成物
　炭素酸化物

11. 有害性情報
毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
mouse LD50=5000mg/kg (IUCLID, 2000)
急性毒性(経皮)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
rabbit LD50=3000mg/kg (IUCLID, 2000)
急性毒性(吸入)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
vapor: rat LC50=25132ppm/4hr (環境省リスク評価第6巻:暫定的有害性評価シート, 2008)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
ヒト 皮膚炎 (DFGOT vol.11,1998)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
ヒト 刺激性 (環境省リスク評価第6巻:暫定的有害性評価シート, 2008)
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
皮膚感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

[成分データ]
データなし
発がん性
[製品]
区分 2, 発がんのおそれの疑い
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(カーボンブラック)
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)
[IARC]
(カーボンブラック)
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]
(カーボンブラック)
A3(2011) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
[日本産衛学会]
(カーボンブラック)
第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ
区分 3, 眠気又はめまいのおそれ
[成分データ]
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
気道刺激性 (SIDS, 2013)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
麻酔作用 (SIDS, 2013)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
神経系 (SIDS, 2013)
(カーボンブラック)
呼吸器 (SIDS, 2007)
誤えん有害性
[製品]
区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
cat. 1; hydrocarbon, 化学性肺炎 (HSDB, 2014)

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 1, 水生生物に非常に強い毒性
区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(n-ヘプタン)
甲殻類 (ミシッドシュリンプ) LC50=0.1mg/L/96hr (SIDS, 2013)
(カーボンブラック)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50 >5600mg/L/24hr (SIDS, 2007)
水溶解度
(n-ヘプタン)
溶けない (ICSC, 1997)
(カーボンブラック)
溶けない (ICSC, 2010)
残留性・分解性
[成分データ]
(n-ヘプタン)
急速分解性あり (BODによる分解度 : 101% (既存点検, 1996))
生体蓄積性
[成分データ]
(n-ヘプタン)
log Pow=4.66 (ICSC, 1997)
土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1133
正式輸送名 : 接着剤、引火性液体含有
分類または区分 : 3
容器等級 : II
指針番号: 128

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1133
正式輸送名 : 接着剤、引火性液体含有
分類または区分 : 3
容器等級 : II

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1133
正式輸送名 : 接着剤、引火性液体含有
分類または区分 : 3
危険性ラベル : Flamm. liquid
容器等級 : II
特別規定番号 : A3

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(X類)
n-ヘプタン

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
n-ヘプタン(別表第9の526); カーボンブラック(別表第9の130)
名称通知危険/有害物
n-ヘプタン(別表第9の526); カーボンブラック(別表第9の130)
別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)
危険物・引火性の物 (-30℃ <= 引火点 < 0℃)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質
ヘプタン(85%)[n-ヘプタン(85%)(管理番号731)]

消防法
危険物
第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
大気汚染防止法
揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項
n-ヘプタン

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。